

緑のまち



編集「北国分外環対策協議会」で検索
市川市北国分 4-8-6 佐々木方
TEL 047-371-9528
<http://midori.kuuki.info>
ishitaka6648@gmail.com

———北国分だより———

第122号 2017. 7. 15発行

第47回北国分外環対策協議会 総会

日 時：平成29年7月29日（土） 10時～12時
場 所：小塚山研修所 第二会議室（2階）
オープニング：緑のまち合唱団のコーラス



《 議 事 》

- ◎年間活動報告
- ◎会計報告 会計監査報告
- ◎新年度活動計画
 - 「緑のまち」発行 （9月、1月、4月、7月）
 - バードウォッチングの集い （11月、2月、4月）
 - 森の音楽会開催（10月9日・体育の日）
 - 外環連合会議に参加（毎月、事務局）

外環道は29年度の完成をめざして大型トラックが行き交い、工事が進められています。北国分1丁目では、高さ6～7mの遮音壁が建てられ、反対側の様子は全く見えない状況です。外環道はこれからの私たちの生活にどう影響をもたらすのでしょうか。大気汚染・騒音・振動、地域の安全など、とても心配です。

みなさんと御一緒に考えたいと思います。どなたでも参加できますので、お暑い中、恐縮ですが是非お出かけ下さい。お待ちしております。

※なお、コミュニティーバスの早期実現のために、外環の側道を利用するコース案についてのお話もあります。

※北国分駅前の自転車置場（バイクも含む）が、4月1日から「市川市北国分駐輪場」として市営化され有料になりました。場所は駅前バス停側のマンションの裏手です。雨風の強い日に駐輪場の自転車が転倒し、雨ざらしにされたまま、放置され、損害を受けました。車を利用しない通勤・通学者にとって、自転車は生活の一部です。有料であるならば責任をもって管理していただけるよう、是非とも改善を御願ひしたいと思います。（北国分2丁目 菅野）

□探鳥会報告□



日 時：平成 29 年 4 月 29 日（土）

天 候：晴れ

参加者：高原（父・母・息子）、門澤（父・母・娘）、樋口（母・息子）

鈴木、飯山、鈴木、佐々木、新谷、三好、石居、村岡 16 名

確認された鳥：ハシビロガモ コガモ キジバト ツミ オオタカ

カワセミ ハシボソガラス ハシブトガラス ツバメ

シジュウカラ ヒヨドリ ムクドリ カワラヒワ 計 13 種

コメント：よく晴れ好天に恵まれましたが、期待の夏鳥は声もありませんでした。しかし、子供達の声と共に皆で新緑の中を歩きました。（村岡）



初めてのバードウォッチング

門澤（北国分 4 丁目）

ゴールデンウィーク前半の土曜日、朝、長女を部活に送った帰り道に掲示板の案内に「バードウォッチング」と書いてあることに気がつきました。

「今日は天気もいいし、参加してみようか？」と主人と話をして当日の朝、参加を決めて、集合場所へ向かいました。次女を連れて 3 人での参加です。

普段は娘たちの通学路として小塚山の脇の道を通っていますが、中に入ったのは初めてのことです。中はとても緑が濃く、気持ちがいい場所で、外からの雰囲気とは大違いでした。

自己紹介、先生の鳥の説明などを聞いた後、静かな森の中を 1 周しました。鳥の声を聞きながら先生が鳥の説明をしてくれます。先生は鳴き声を聞くと「これはカワラヒワですね。キリキリと鳴きますよ。」などと声を聞いただけですぐなんの鳥が鳴いているかを教えてくださいます。私たちはその説明を聞いてから図鑑で「こんな鳥が木のどこかで鳴いているんだね。」などと調べて想像しながら歩きました。鳥だけでなく、途中でたくさん見かけた「キンラン」の花もかわいらしく素敵でした。

小塚山の森の後はじゅんさい池へと移動し、初めてカワセミの姿を見ることもできました。先生の生態系の話はとても興味深く、「ちょこっと駅前へ餌をとりに行くんですよ」など鳥の世界も今現代の生活に変化しているんだなと感心しました。

今回は 13 種類の鳥を確認できましたが、冬の方が鳥の姿も確認しやすいとのことなので、次回冬の会も参加してみたいと思いました。連休中、出先で鳥の声を聞くと「これは何の鳥の声かね？」と鳥の音が気になるようになりました。

身近な場所でこのような機会に恵まれたことに感謝いたします。

コミュニティーバスの早期実現を！

北西部にコミュニティーバスを走らせる会
世話人 小栗山敬子

2014年に、「北国分駅までのバスの便を増やしてほしい」と京成バスに要望してから3年目になります。しかし、「利用者が少ないので経営上無理」ということで、市へコミュニティーバスを走らせて欲しいという運動が始まりました。

2015年8月、北国分自治会に御願いしてアンケート調査を実施した結果、住民の皆様の要望が大きいことが分かり、市の交通計画課との話し合いを重ね、実現に向けていろいろ検討を続けてきました。

船橋市のコミュニティーバスに乗って状況を確認したり、世話人の方の話を伺ったりしてきました。道路が狭いという問題も何とかクリアするようにコース案をいくつか考えて、2016年5月には、市川警察、京成バス、市役所、世話人と合同での実地調査を行いました。その結果を踏まえてどのくらい利用者が見込めるのか、9月に2回目のアンケート調査をした結果、特に北国分2、3丁目の方の要望が強いことが分かりました。

そこでできるだけ早くコミュニティーバスの運行を実現させるためには、完成間近な外環道路を利用する方が良いのではないかと考え、新しいコースを考えてみました。

(新コース案)

国分操車場—北国分駅—ベルクス前—堀之内緑地—八反割り公園—北国分公園—北国分2丁目公園—いなりざく公園—博物館裏—国道298号（外環側道）—大イチョウ横—皆川医院横—矢切駅までを往復巡回する。

ただこのコース案では国府台病院や西部公民館へは直接いけないので、国分操車場で乗り換えていかなければならないため、課題はありますが実現の可能性は大きいのではないかと思います。来年3月までに外環道路が開通する予定ですので、側道を利用して少しでも地域住民のために活用していく事が必要だと考えています。

外環道路によって北国分の地域が分断されてしまうことになってしまいますが、新しい整備・拡充が予定されている小塚山公園を中心に、緑豊かなこの地域が市民の憩いの場となる事を願っています。そして、かわいいコミュニティーバスが走るようになり、今より少しでも交通の便が良くなれば、もっともっと住みやすい地域になってくるのではないかと期待しています。





皆さんは市川の桜の名所の一つに里見公園分園を御存知でしょうか。市川松戸線を広小路から進んで行き、和洋女子大坂の手前を左に上がった通称「三角公園」です。ここに3月末にテニスコート2面と駐車場を整備する問題が急浮上し、市議会でこの予算7500万円が既に承認され、市民や地元住民に一切の説明をしていませんでした。この事を知った地元自治会といくつかの市民の会が「桜を伐採せず、この地の環境をこのまま残して」等の要望書を市長宛に提出し、北国分外環対策協議会もこれに協力しました。有志の方々のご尽力により調査報告書も作成され、6月6日、市にこの報告書を提出し、その後新聞5社の記者を前に会見を行いました。詳細は、HPを御覧下さい。

この里見公園分園の桜は市が2000年に発行した「巨樹に会いに行こう」、2006年に発行した「発見市川の自然」に紹介されている市内を代表する桜（樹齢、枝ぶり等）にリストアップされているものです。市も認めるこの素晴らしい桜を住民意見も聞かずに伐採してしまう市川市の姿勢は、外環工事で北部風致地区を破壊し、市の象徴である黒松を多数伐採したその延長線上にあるように感じてなりません。この整備計画の予算を簡単に承認した市議会も問題です。近年、市は「北西部水と緑の回廊構想」「生物多様性いちかわ戦略」などの政策を採択し環境事業に前向きなはずであります。北部住民としては、これに逆行しているように思います。

里見公園を含む国府台風致地区及び真間川沿い周辺は、桜の名所として、市川市民だけでなく、東京下町を含む近隣住民にも知られている歴史があり、これらを脅かす行為を市川市が主導で行うべきではないと考えます。伐採してしまうことは簡単であります。樹齢のある樹木は一朝一夕のものでなく、地域住民に永年愛され続けてきた、その土地の歴史や風土を象徴するものです。市川市北部住民は、交通は不便であることは承知の上で、都心部から比較的近い距離で古くから緑が形成されている国府台風致地区に移り住んで来ている方も多くいます。近年若い世代も子育てに緑溢れる環境を重視し、移り住む傾向も見られ、市のこのような姿勢は、いずれ市川市地方自治の存続に影響を与える要因（人口減少に伴う税収減、公共サービスの低下等）になるのではと危惧いたします。北部地域の民有地であった雑木林も近年宅地に開発され、緑が減少傾向にあり、だからこそ市川市の保有地は、緑を最優先で守っていただきたいと希望します。

■ 編集後記 ■ 4月の小塚山のキンランは綺麗でしたね。探鳥会門澤さんはじめ初参加の皆様ありがとうございました。じゅん菜池の水鳥を除いても北国分だけで30種類以上の野鳥に出会うことができます。オオタカの雛も大きくなり、4年連続の営巣はとてもめずらしいことのようにです。(T. I)